

<基本的搾乳手順>

◆先搾り

目的

- ・ **しっかり乳頭刺激** (強い刺激→短い搾乳時間→健全な乳頭口→感染の減少)
- ・ 最初の一搾り目で、乳頭口内の菌を排除
- ・ 乳房炎の発見 (乳汁の異常、乳房の異常を観察)

◆プレディッピング

- ・ **乳頭全体を確実にディッピング**
- ・ 『20~30 秒のコンタクトタイム』をもつ：ディップした薬剤が付着している時間



◆清拭と乾燥

- ・ 一頭一布以上での清拭。
→使い捨てペーパーor 布タオル (布タオルは自分の顔が拭ける以上に清潔に消毒を！)
- ・ きちんとふき取る→**強く、ねじり込むように！！**
撫でるように拭けばよいのではなく、細菌の感染を阻止することが目的です！！

※ 消毒された搾乳手袋 (搾乳中も定期的に洗浄)

手は SA をはじめとした雑菌の温床です！ゴム手袋も搾乳の過程であつという間に汚染されていきます。搾乳中も定期的に消毒しましょう。(殺菌剤入りバケツなど。)

3, 2 頭ごと！ 異常乳のあと！

治療牛や問題牛のあと！というのが目安です！！



◆ミルカー装着、機器調整

ラグタイム：先搾りからユニット装着までは 60~90 秒

- ・ 乳房に垂直に装着 (斜めだったり、捻じれたりさせない)
- ・ **エアーを吸わせない (真空圧の低下、ドロプレッツ現象の原因になります。)**
- ・ 調節フック、ひも、ワイヤーを使ってチューブが牛体に沿うように！！

時間短縮と感染予防のためにも引き続きラグタイムを意識しましょう。

◆離脱 →過搾乳と乳頭口への負担を考える

- ・ バキュームを遮断して、一呼吸おいてから離脱する。
(吸引されたままミルカーを引き抜くのは、想像以上に乳頭口へ負担がかかります！)

- ・ 後搾りは最小限に (残乳 0.45 リットル以上)。



◆ポストディッピング

- ・搾乳後速やかに。
 - ・十分な量を十分な面積に。
- (全体がコーティングされていることを目視。)



<乳房炎や高体細胞数による損失>

◇経済的損失

- ・ 廃棄乳、乳量低下による損失
- ・ 治療費
- ・ 増える労働時間
- ・ 牛の淘汰

◇精神的損害

- ・ 搾乳者のストレス
- ・ 経営者、従業員のイライラ

体細胞リニアスコアと乳の損失			
乳の損失(kg/305日)			
リニアスコア	体細胞数	初産	経産
0~2	~0.7		
3	7.1~	-90	-180
4	14.2~	-180	-360
5	28.3~	-270	-540
6	56.6~	-360	-720
7	113.2~	-450	-900

搾乳は酪農における「食品を収穫する行程」であり、食の安全および人の健康への責任が伴います。また、収穫とは乳を搾るまでの流れ、つまり子牛として生まれてから飼養してきた投資コスト、エサを作るための土作りから畑づくり、牧草収穫から貯蔵や管理、日々のミキシングや給餌、分娩と泌乳を目指しての発情発見の努力と人工授精等の投資、分娩監視の労力 etc...といった多様な投資の結果を実りとして回収する最後の行程です。言いたいことは、たくさんの努力の結晶である宝石のような生乳を、搾乳が損失の原因になるような手技で搾ってはいけません、という当たり前のことです。ましてや、今は乳価も最高値！！経営者も従業員も、笑顔につながる搾乳を目指しましょう。

参考

搾乳方法の見直し編 デーリィ・ジャパン社

乳房炎との戦いに打ち勝つために デーリィ・ジャパン社

David A. Reid 獣医師講演資料 (株式会社ナスアグリサービス)

THMS 黒崎獣医師講演資料



今年も残すところあとわずか。今年も皆さまには大変なご迷惑をおかけしました。来年は僕が別海にいられる最後の年となります。これまで自分のことばかり考えてきて、うまくいかなかったことが多いように思います。来年は修行がどうか考えずに、小さなことでも、一つでも多く農家さんのためにできることをやる一年間にしたいと思っています。どうか少ない時間ですが、よろしくお願い致します。

地蔵 (てらうぼう)

THMS 事務員からの挨拶だも〜♡



はじめまして、12月から入社しました、中西晴香です。

小さな頃から牛が大好きで、高校を卒業してからずっと酪農に携わる仕事をしてきました。入社して2週間が経とうとしていますが、私の大好きな牛に携われる仕事なので毎日がとても楽しく、1日が恐ろしいほど早く過ぎていく毎日を送っています。みなさんに頼ってばかりなので、1日でも早く仕事を覚えてお客様や先輩方に迷惑をかけることの無いように頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



中西



皆様、はじめまして。4月から入社の《吉川 久美》です。

入社から、早いもので8ヶ月が経ちました。皆様への挨拶が遅れてしまい申し訳ありませんでした。今回、中西さんに便乗して挨拶させていただきます(笑)これを機に皆様に少しでも《よしかわ くみ》という存在を覚えてもらえたらと思っています。

特徴といたしましては……、

★私は事務員の中で1番背が高いです。(事務所に来られた際、テカい女がいたらそれは私です)

★私は電話中、言葉を囁む、どもります。(お話し中何を言っているのか分からないのは私です)

とても、分かりやすいと思います(笑)

生まれも育ちも別海町で、高校卒業後は仙台に進学し動物の勉強をしていました。その後は、北海道に戻り道央にある某動物施設で働き、フクロウや家畜動物の世話をし、フクロウを飛ばしてショーをしていました。そして、故郷に戻り現在 THMS で事務をさせていただいています。THMS は皆様、ご存じの通り素敵な先生方、優しい事務の先輩。本当に恵まれた職場で働けていると、毎日実感しております。まだまだ覚えることも多く、皆様には迷惑をかけることも多いと思いますが、日々精進し1人前になれるよう頑張ります。

今後もよろしくおねがいします。



吉川

退社のご挨拶

いつもお世話になっております。事務の山口です。

この度、12月いっぱいをもってTHMSを退社することとなりました。

昨年9月からお世話になり、1年と3ヵ月。皆様には本当にお世話になりました。

恥ずかしながら、地元出身にもかかわらず酪農に関して全く知識がなく、いろいろな場面で皆様に大変ご迷惑をおかけしたことを思います。この場を借りてお詫び申し上げます。

ただ、私自身と致しましては大変勉強になり、また、地域産業についても考え直すことのできた非常に濃密で勉強になる1年と3ヵ月となりました。

この先、直接酪農に携わる機会があるかどうか分かりませんが、ここでの経験や知識を、微力ではありますが何らかの形で役立て、貢献できることがあればと思っています。

短い間でしたがお世話になりました。

これから益々寒さが厳しくなり、大変な季節になりますが、体調には十分にお気を付けください。



山口 学美